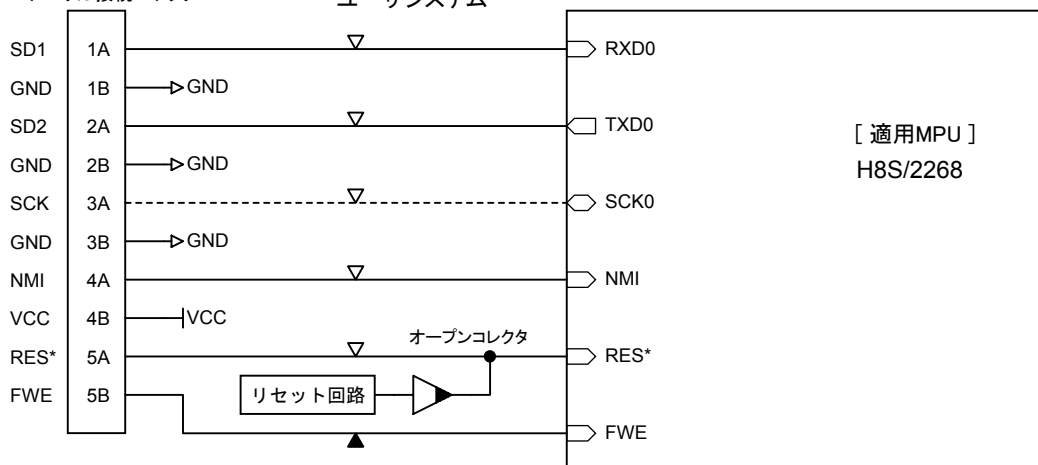


【 接続例14 】 H8S/2268の場合 (H8S/2200シリーズ)

Hデバッグ接続コネクタ

ユーザシステム



- ▽印はプルアップ抵抗です、▲はプルダウン抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になる様ハードを設計して下さい。
- CPU動作モード(ブート・実動作)設定回路は、ユーザ(ターゲット)側で用意して下さい。
- CPU設定でターゲットI/Fを調歩同期／クロック同期の選択ができます。
調歩同期側に選択した場合は、SCKを開放にして下さい。